



# きらきただより



令和2年度  
10月号  
げんきな森中央保育園  
たんぼぼ組

食欲の秋ですね。入園当初より食事の量が増え、食器が空っぽになることも。体力がつき「こんなことやってみよう。」とハラハラ、ドキドキするようになってきました。にこにこ山へ行き虫探しをしたり、ぴよんぴよん跳ねたりしています。(バッタやコオロギの真似かな～。)身体を十分動かしてお友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わったり、この季節に味わえる風や空の色等を見たり、虫の鳴き声に耳を傾けたり、実体験を通して五感で秋を感じて楽しんでいきたいです。

## ～10月のねらい～

- 身の周りの事をやってみようとする。
- 友達と簡単な言葉を使ってやり取りを楽しむ。
- 戸外でのあそびを通して、秋の自然に触れながら楽しむ。



### 今月のうた・絵本

- |             |        |
|-------------|--------|
| うた          | 絵本     |
| ・どんぐりころころ   | ・だるまさん |
| ・とんぼのめがね    | シリーズ   |
| ・大きなくりの木の下で | ・森のおふる |



### お願い

- 足に合ったサイズの靴  
(にこにこ山(斜面)へ行くことが多くなったので、マジックテープ等の確認をお願いします。)
- 持ち物には大きく記名をお願いします。  
※おさがりや貰った服も名前を書き直してください。
- 日中は汗ばむことがあります。半袖を2枚程度入れてください。薄着で過ごし、身体を丈夫にしましょう。

### 子ども達の姿

身の回りの事を、「自分でやる!」と言ったり、一人で黙々と取り組んでみたり、声を掛けると怒ったり・そんな姿がありませんか?大人がついつい、してしまおうと思うことありますが、“目をかける・手をかけるは大切な事。時間に余裕がある時は、ゆっくり子どものする事を見守ってあげましょう。次は、こうしようね。と伝えれば、気付く力がついてきます。

ごっこ遊びが盛んになってきました。一人遊びから、徐々に友だちと関わってのあそびに。「ご飯できました。」のおままごと。段ボールに入って汽車ポッポ。にこにこ山では、友だちと一緒に虫探し等、子ども達の「力」でいろんなごっこ遊びが広がります。ごっこ遊びは、毎日の生活のなかでの経験や絵本を見たり、聞いたりすることで、展開されていきます。ごっこ遊びをする中で、「貸して」「いいよ」「待って」「後で」等のやり取りをしながら関わり方を学んだり、いろんな模倣遊びをしたりして、友達と一緒に楽しいを感じて欲しいと思っています。

